

誕生 50 周年記念 ベルサイユのばら展 ―ベルばらは永遠に―

東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階） 22.09.17～11.20

阪急うめだ本店（大阪・梅田） 22.11.30～12.12



「池田理代子氏」の『ベルサイユのばら』は、1972年4月～1973年12月迄、少女マンガ誌「週刊マーガレット」に連載され、フランス革命を背景にした壮大な歴史ドラマは、連載開始から少女の心をつかみ大ヒットした。

「ベルばら」の軌跡を振り返る誕生50周年記念の本展は、原画や美しいカラーイラストをはじめ、宝塚劇場の舞台衣装や公演ポスター、アニメのセル画やお宝グッズなどを幅広く展示していて、宮殿をイメージした豪華な空間では「ベルばら」ワールドに心ゆくまで酔いしてしまうような雰囲気である。

<本展の見どころ>

『エンランス』は、ベルサイユ宮殿をイメージした優雅な回廊で、奥には「オスカル」「マリー・アントワネット」「フェルゼン」「アンドレ」の4人のパネルをまさにそこに佇んでいるかのように展示し、窓面には、登場人物が宮殿に飾られた肖像画のように展示し、「ベルばら」ワールドへと誘っている。

『序章 ベルサイユのばら 誕生』

『第1章 ベルサイユのばら』



カラーイラストとしては当時としては珍しい2色、4色の原画など「180点」を物語に沿って展示していて、生き生きとした美しく力強い線や胸に染みるセリフを楽しむことができる。

『第2章 宝塚歌劇「ベルサイユのばら」』

1974年の初演以来、空前の「ベルばら」ブームを起こした歌劇で、「オスカル」と「アンドレ」が愛を誓いあう名画面「今宵一夜」の舞台が展示されている。

『第3章 TVアニメ「ベルサイユのばら」』

1979年にアニメ化され、主題歌「薔薇は美しく散る」が大ヒットした。

『第4章』「ベルサイユのばら」は永遠に

「ベルばら」をめぐる半世紀の話題であるモノ・コトを展示している。

本展の内容は、雑誌「芸術新潮」73：（9）2022に詳しく掲載されている。